



しんちゃくとしょあんない

新着図書案内

まつさかしょうぎょうこうこうとしよかん
松阪商業高校図書館 2021.1

3学期が始まりました。

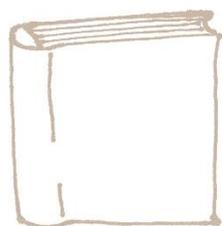
本年もどうぞよろしくお願ひします。

みなさんにとって、楽しい一年となりますように。

また、とっておきの一冊が見つかりますように。

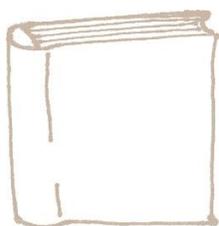


しんちゃくとしょ 新着図書から



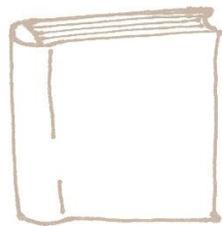
球体の中に世界観を閉じ込めたスノードーム。著者が旅先で集めたコレクションは、なんと300個を超えているそうです。

『世界のスノードーム図鑑』カルロス矢吹著、産業編集センター、2020



韓国を代表するエッセイストによる、イラストエッセイ最新作。同調圧力の強い社会で、自分と他者との心地よいバランスを探るのはいつも大変。いくつものエピソードは、日本に住む私たちにも通じる場所があります。

『頑張らずに、気楽に』キムスヒョン著、岡崎暢子訳、ワニブックス、2020



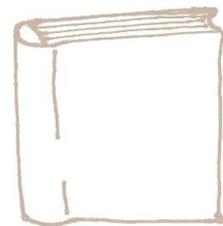
スマホやiPadが、私たち、特に子どもや若者たちの脳に、どんな影響を与えているのか?最新の研究が明らかにする、スウェーデン発世界的ベストセラーの日本語訳。

『スマホ脳』アンデシュ・ハンセン著、久山葉子訳、新潮社、2020



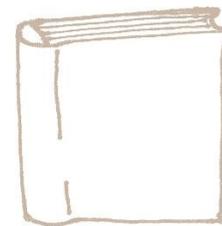
体内細胞擬人化マンガ『はたらく細胞』のキャラクターを切り口に、ウイルスの基礎的な知識が学べる本。第2章では、新型コロナウイルスの正しい知識について掲載。

『「はたらく細胞」ウイルスの教科書』清水茜メインキャラクターイラスト、講談社編、講談社、2020



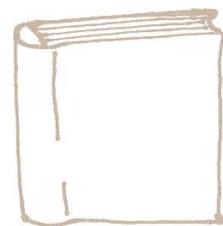
そもそも「読解力」って、どういう力? どうして必要? 身につけるための方法は? 数学との関係についての調査結果ほか、興味深いデータも盛りだくさんです。

『なぜ、読解力が必要なのか?』池上彰著、講談社、2020



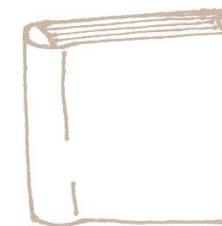
人気文具メーカーのSNS担当者など、23人のステキなノートを大公開。ページを眺めているだけでも楽しめます。もちろん、アイデアを参考にすることも。

『わたしのノートの使い方』KADOKAWA ライフスタイル統括部編、KADODAWA、2020



室内でも手軽に育てられる、ヒヤシンスなどの球根植物。この本では、育て方、花が終わってしまった後の養生などを説明しています。写真が豊富なので、わかりやすい。

『きらめくバルバスプランツ』竹田薫著、主婦の友社、2020



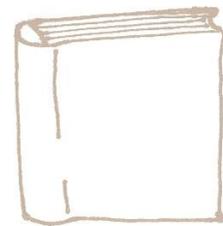
お金に目がない敏腕弁護士、剣持麗子のキャラクターが楽しすぎる。第19回『このミステリーがすごい!』大賞受賞作です。

『元彼の遺言状』新川帆立著、宝島社、2020

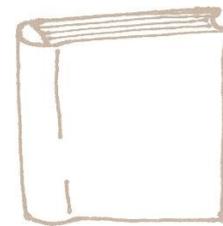
かんないとくしゅう 館内特集コーナーその1

新1万円札の顔としても注目されている、2021年大河ドラマの主人公

しぶさわえいいち
渋沢栄一って、どんな人?



『渋沢栄一の生涯』渋沢栄一研究会著、宝島社、2020



『まんが超訳 論語と算盤』渋沢栄一原作、光文社、2020

かんないとくしゅう 館内特集コーナーその2

バレンタイン特集